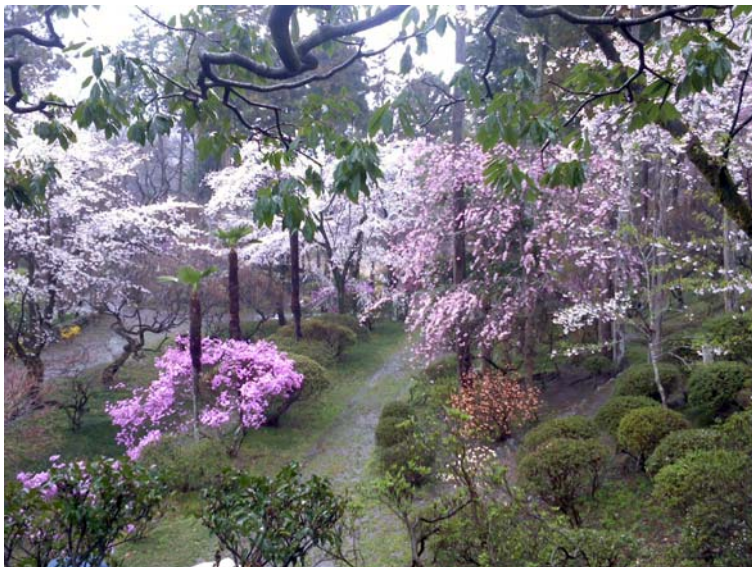


原善三郎生家「天神山」と渋沢栄一のふるさと深谷を訪ねました



桜、つつじ、れんぎょう、水芭蕉、みつまたなどがちょうど満開。天神山は毎年4月の1ヶ月間だけ一般に公開されています。



八塩温泉神水館にて、昼食を兼ねて交流会を開催しました。地元の歴史に詳しい正伝院住職の坂東様や、富岡製糸場初代場長の尾高惇忠のご子孫の荻野様からもお話を伺いました。



深谷市渋沢栄一記念館へ。尾高惇忠に関する新出史料も展示されていました。

4月スタディ・ツアーでは、桜やつつじの咲き乱れる天神山と、富岡製糸場の設立に深くかかわり、近代製糸の扉を開いた渋沢栄一のゆかりの地である深谷を訪ねました。なお、今回は大佛次郎読書会と天皇の世紀を読む会のメンバーも参加しました。



天神山から神流川を望む。対岸は群馬県です。



深谷の渋沢栄一生地「中の家（なかんち）」と、渋沢栄一の雅号青淵（せいえん）の由来となった池の跡に建つ「青淵由来之碑」を訪問。



レンガ造りの誠之堂と清風亭。渋沢栄一にゆかりのある建物で、東京から大寄公民館に移築されました。